

自己評価

結果報告書

平成 31 年 3 月 31 日

学校法人 阪勉学園

埼玉歯科技工士専門学校

目 次

1. 学校の教育目標.....	1
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画.....	1
3. 評価項目の達成及び取組状況.....	2
(1). 教育理念・目標.....	2
(2). 学校運営.....	3
(3). 教育活動.....	4
(4). 学修成果.....	5
(5). 学生支援.....	6
(6). 教育環境.....	7
(7). 学生の受入れ募集.....	8
(8). 財務.....	9
(9). 法令等の遵守.....	10
(10). 社会貢献・地域貢献.....	11
(11). 国際交流.....	12
4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果.....	13

1. 学校の教育目標

本校は、歯科医療の一端を担う歯科技工士として、必要な専門知識及びその応用を教育すると同時に、社会のために役立つ歯科技工士を養成することを目的としている。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教務全体としては、教育内容とカリキュラムを新たに構築し、確立する。

また、eラーニングを試験的に導入し、配信コンテンツの充実を図る。

国家試験全国統一化に対しては、初めての形式の試験となるので万全の体制で試験に臨めるよう準備を進める。

1 学年では、日常生活を通じた授業規律や身だしなみ、時間のけじめ指導のほか、勉強する習慣を身につけ向上心の育成につとめる。

2 学年では、実力に応じ、基礎から応用への転換へと繋げ、そこから自信と責任を学ばせていくと同時に、協調性・積極性を養い、発言できる人材を育成する。また、精神面をサポートすることにより、問題を早期解決へと導く。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	④	3	2	1

現状

創立時より「啐啄同時」を教育理念とし、医療従事者に相応しい礼節と身だしなみを具え、整理整頓を心がけ、向学心を持ち続ける学生を育成人材像としている。

本校の職業教育の特色としては、CAD/CAM や色彩学など指導要領にない先端技術や関連知識の教育や特殊な技能を有する非常勤講師や歯科関連企業による実習を取り入れて業界のニーズに応えている。

①課題

(教育目標の保護者への周知に関しては、入学時の説明および試験結果発送時に行っているが、
今後、更に機会を増やして保護者の理解を得るよう努めていきたい。)

②今後の改善方策

(学校の教育への取り組みを学校便りやホームページを通して定期的に公開していく。)

③特記事項

()

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

現状

学校運営方針は年度初めの教職員会議において各部署の事業計画・目標及び業務の円滑化を図るための業務分掌の説明がされる。

年度の事業計画は、各部署にて事業計画書を作成、3月に開催される理事会・評議員会において決定され、年度当初の教職員会議を経て教職員に周知される。なお、年4回開催される教職員会議で各部署の進行状況が明確に報告されている。

人事・給与については、就業規則・給与規定に基づいて決定されている。

コンプライアンスについては、各種法令に基づいて教職員に周知されている。

教育活動についてはホームページ等を利用して随時公開するように整備している。

情報システムは入学希望者・在校生・卒業生と給与会計の2系統のシステムに分けており、ネットワークは切り離され、サーバも独立している。

①課題

（ クラウドの利用や、文章の電子ファイル化等に順次変えていく必要がある。 ）

②今後の改善方策

（ ）

③特記事項

（ ）

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	②	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

現状

カリキュラムは、歯科技工士養成所指定規則に基づいた授業時間数を十分に確保し、学生が実技教育を理解しやすいよう、講義を先行して知識を学び、その後、実習を通して理解を深められるように編成している。

職業教育に関しては、歯科関連企業と連携した実技教育を取り入れており、企業の特徴を生かした知識や技術の習得を行い、学生個別の評価まで実施している。

成績評価に関しては、学生便覧の配布と説明によって規定を知らしめ、明確にしている。

教員の研修については、教材開発のために必要な技術の講習を定期的実施している。

①課題

(授業評価については、教科によって行っていることもあるが、学校としては実施していない。)

②今後の改善方策

(授業評価については、早急に評価方法を策定し、実施していく。
教員の研修については、組織構成を戦略的に考えて、必要なスキルが取得できるよう取り組みたい。)

③特記事項

(タブレット端末(iPad)専用の教材を取り入れて、実習で行う操作をいつ、どこでも学習できる環境を整えている。)

歯科技工士養成所指定規則に定められた科目以外で、英会話、CAD/CAM、色彩学およびマウスガードの4講座を開設し、学生の自由意思で受講できる機会を設けている。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

現状

歯科技工士資格の取得率は、2年間を通して着実な技術の習得と学科の復習を継続して行っており、例年ほぼ100%である。

就職率については、学生数を十分に上回る求人が寄せられており、就職希望者は100%就業している。

退学率の低減のためには、予兆がみえた時点での担任によるケア、保護者との緊密な連絡および学生と保護者を交えた面談の実施などを講じている。

①課題

(卒業生の卒後の社会的な評価およびキャリア形成などの把握は、一部の卒業生に限られる。)

②今後の改善方策

(卒業生の実態調査の実施などを通して、社会的な評価およびキャリア形成などの把握に努め、学校の教育に活かしていく。)

③特記事項

()

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

現状

進学や就職に関する支援体制は、担任による進路面談、就職担当者による学生の就職希望地域やキャリア形成のための助言および学生の就職活動を把握し教員間で情報を共有している。

学生の相談に関しては、担任が窓口となり相談しやすい環境を提供している。

学生の経済的な支援体制は、震災被災者や入学時の成績優秀者に対する減免制度、公的な奨学制度や民間の教育ローンの斡旋を通じ、学費負担の軽減を行っている。

学生の健康管理については、毎年の健康診断の実施および近隣の総合病院との提携により、学生の健康状態の把握と疾病への迅速な対応を行っている。

課外活動に関しては、学生の有志による部活動などを奨励し、活動場所の提供等の支援を行っている。

卒業生への支援体制としては、同窓会組織である校友会の活動を全面的に支援するとともに卒業生の再就職や開業の際の相談や助言などの対応を行っている。

①課題

（ 保護者との連携がやや希薄であり、交流や連携の機会を設けることが必要と考える。 ）

②今後の改善方策

（ 保護者との連携を強め、本校の教育に対する保護者の理解を得られるよう改善していく。 ）

③特記事項

（ ）

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

現状

施設・設備は、より良い設備環境の中で学習できるよう計画的に整備している。

大規模災害や火災に備え、消防・避難訓練を年1回実施、災害対策マニュアル、災害対策用品(備蓄)、緊急連絡網(教職員・学生)を整備し、必要に応じて見直しを行っている。防火管理責任者も配置し、消防設備点検も年2回行っている。

また、AED(自動体外式除細動器)を設置し万一の場合に備えている。

①課題

()

②今後の改善方策

()

③特記事項

(在校生は全員学生傷害保険に加入しており、校内における不慮の事故に備えている。また希望者は別途、学生総合保険にも加入している。)

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

現状

学生募集活動は、歯科技工士養成所指定規則、指導要領、学則、個人情報保護法の遵守ならびに文部科学省、埼玉県総務部学事課、埼玉県専修学校各種学校教育振興会等からの各種法令・通知を守り適切に行っている。

教育成果の伝達についてはパンフレットやホームページ、その他広報媒体を通じ、できるだけ多くの情報が客観的に分かりやすく伝わるよう努力している。

学納金に関してはできるだけ無駄を省き、徴収した入学金、授業料、実習費が学生自身に還元できるよう常に努力している。

①課題

()

②今後の改善方策

()

③特記事項

()

(8). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

現状

予算については各担当部署より年度予算書を計上し、前年度と比較検討したうえで理事会・評議員会で決議しており、予算執行については事務局で一括管理している。

財務については学校法人会計基準に則って月2回、税理士による事務処理状況調査、年1回の会計監査を行っており、5月の理事会・評議員会において会計監査報告を行っている。

財務情報の公開については、私立学校法に従い財務諸表を常備し、関係者から閲覧の要請があった場合には、平常業務日に閲覧できる体制を整えている。

①課題

(入学生の確保)

②今後の改善方策

()

③特記事項

()

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

現状

専修学校設置基準及び養成所指定規則、その他法令等を遵守し、適正に運営している。また、申請、届出についても所管先に遅滞なく行っている。

平成17年に個人情報保護に関するガイドライン、項目別個人情報管理マニュアルを作成し、その重要性を認識し保護を行っている。在校生に対しては、入学後のオリエンテーションにおいて説明し、取引業者に対しても情報の保護についての啓蒙を行っている。

自己点検については専修学校における学校評価ガイドラインをベースに、学生、卒業生、関係者等アンケート結果を踏まえ、改善すべき事案については順次、改善に努めている。

また、本報告書を学校ホームページ上に公開している。

①課題

()

②今後の改善方策

()

③特記事項

()

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

現状

教育資源を利用した社会貢献では、各種団体より施設利用の申込があった場合には、学校行事を除いては対応し整備している。

海外からの視察及び中学生による職業体験には積極的に対応している。

学生のボランティア活動においてはポスターの掲示や、各団体から直接依頼があった場合等呼びかけており、ボランティア活動に参加申込があった場合には公欠扱いを認め、後日学修できるように整備している。

社会貢献としては、環境活動についてペットボトルのキャップ回収活動を行っている。

また、毎年歯科助手講習会に講師として職員(教務主任)を派遣している。

①課題

()

②今後の改善方策

()

③特記事項

(職業を一般の方々にも理解していただくために、職業体験講座を用意している。)

(11). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④	3	2	1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④	3	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	④	3	2	1

現状

①課題

()

②今後の改善方策

()

③特記事項

()

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教務としての具体的目標は、シラバスの再整備、新カリキュラムの構築およびeラーニング等の教材を拡充の3点であり、重点課題として取り組んでいきたい。

評価結果から保護者との連携が弱い点が浮き彫りとなったが、専門教育を受ける年代の保護者に対して必要な連携の方法を模索し、有効な手立てを講じていきたい。

また、授業評価については、eラーニングの基盤を活用して確立するよう準備を図っていきたい。